

片桐 直人

高等司法研究科・准教授

【研究】

令和4年度も従来の研究計画を継続した。そのうち特に財政金融に関する憲法学的研究については、論文3本を執筆し(うち英語論文1本)、そのうち1本が公刊され、残る2本が2023年度中に公刊予定である。また、このテーマで学会報告2件(うち海外シンポジウム1件)を行ったほか、関連する一般向けの論説記事や新聞への取材協力・コメントも行うなどアウトリーチに努めた。もうひとつのテーマである葬送法制については、研究への注目が高まり、新聞取材を受けた。このほか、憲法学の個別的テーマに関する論文を執筆し、公表した。

【教育】

高等司法研究科で憲法基礎1、導入演習、連携講義憲法発展演習、憲法応用2を担当した。このうち憲法基礎1について優秀教員表彰を受けた。学部では、演習と特別講義比較憲法理論を担当し、共通教育科目として日本国憲法を担当した。

【管理運営】

認証評価WTの一員として、自己点検報告書、および、認証評価のための自己評価書の作成に携わった。

【社会貢献】

奈良県個人情報保護委員会会長代理として同県個人情報保護条例の改正に携わったほか、情報公開請求に関する不服審査に従事した。大和高田市個人情報保護運営審議会会長として同市個人情報保護条例の改正等に携わった。高槻市個人情報保護運営審議会会長として同市個人情報保護条例の改正等に携わった。

研究活動に関連して、新聞2誌の取材を受けたほか、インターネットメディアに寄稿した。